

2023年版

デジタルコンテンツ購入時の 決済手段に関する調査



Index

SB Payment Service

P.04 調査概要

P.05 回答者 性別と年代

P.06 よく利用する決済手段

P.07 よく利用する決済手段 過去比較

P.08 最も利用する決済手段

P.11 最も利用する決済手段の理由

P.13 最も利用する決済手段 過去比較

P.14 決済手段不足によるサイト離脱率

P.15 購入頻度の変化

調査概要

調査概要

調査内容

デジタルコンテンツ購入時の決済手段に関する調査

調査対象者

1年以内にデジタルコンテンツの代金を支払ったことのある男女

回答者数

2,312人（男性：1,209人、女性1,103人）

調査方法

インターネットリサーチ

調査期間

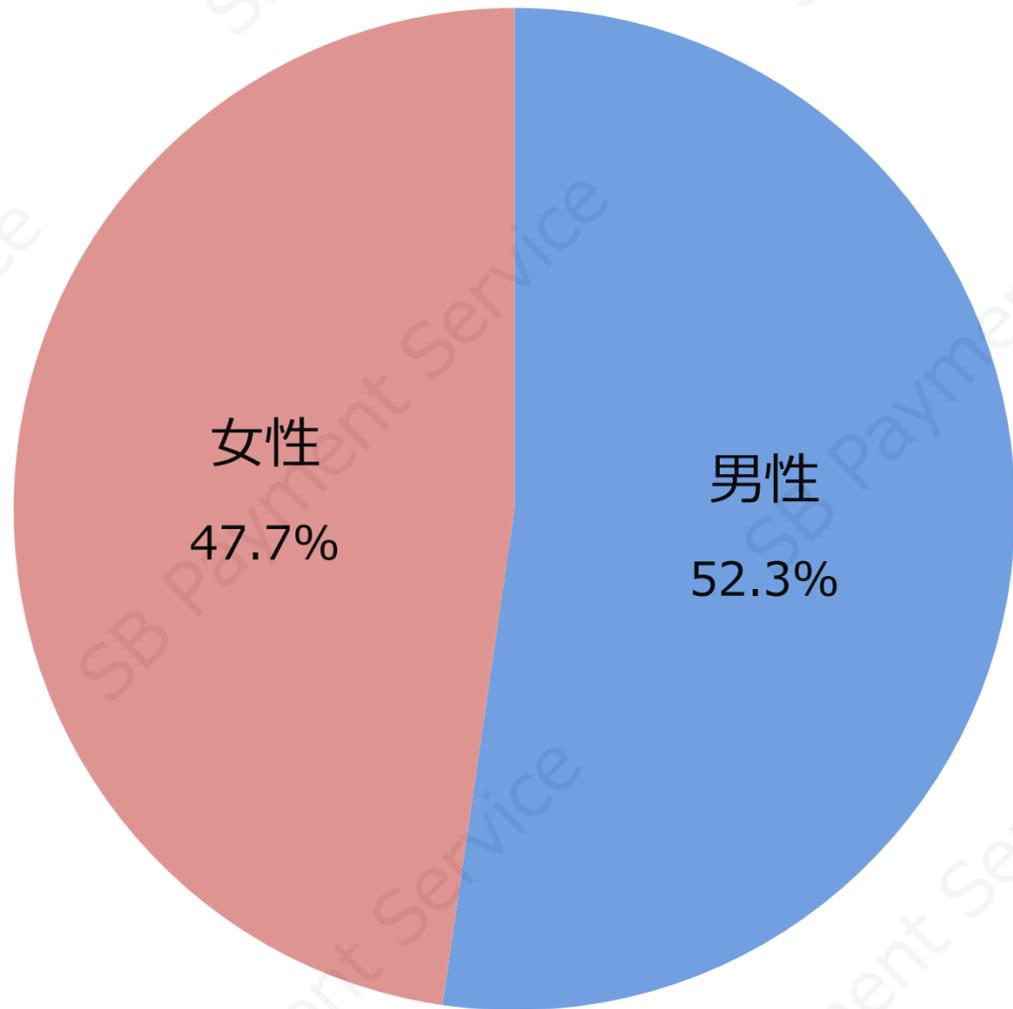
2023年2月28日～2023年3月7日

調査元

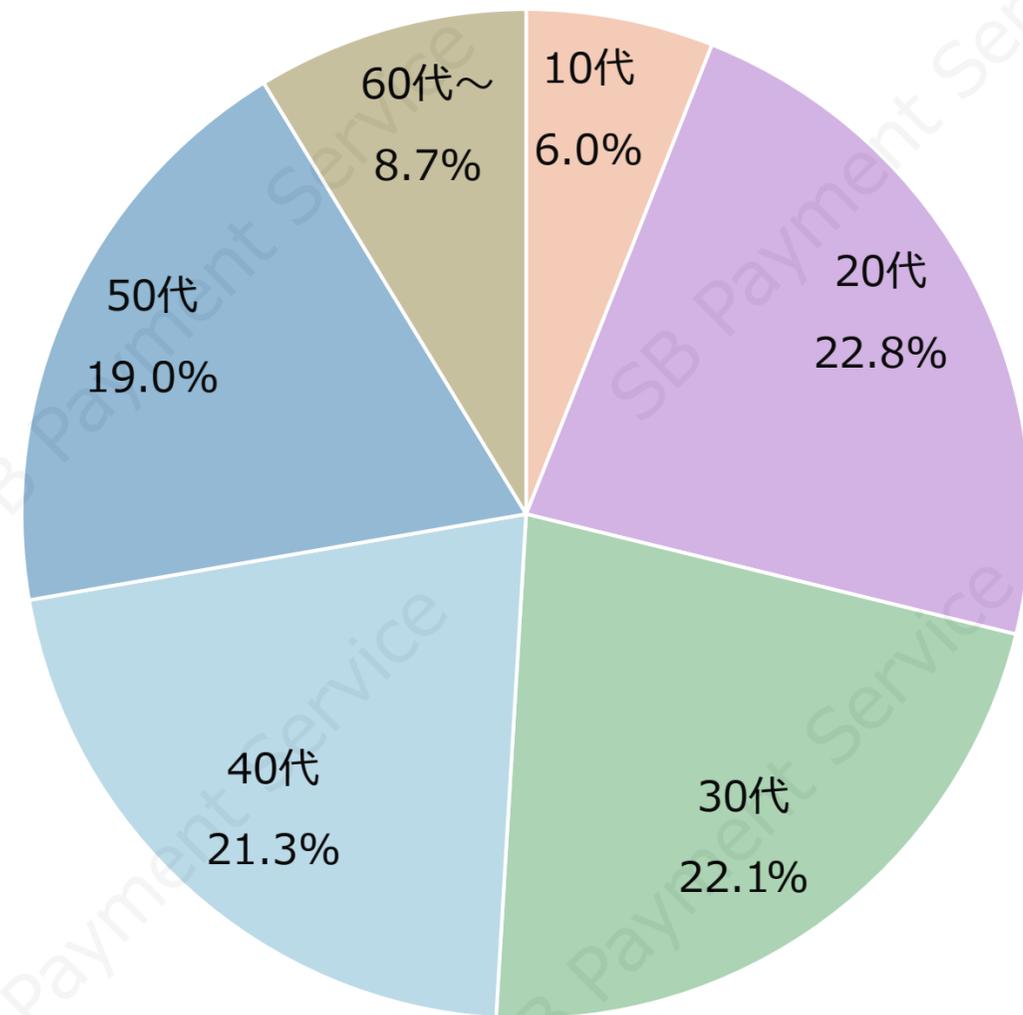
SBペイメントサービス株式会社

回答者 性別と年代

性別

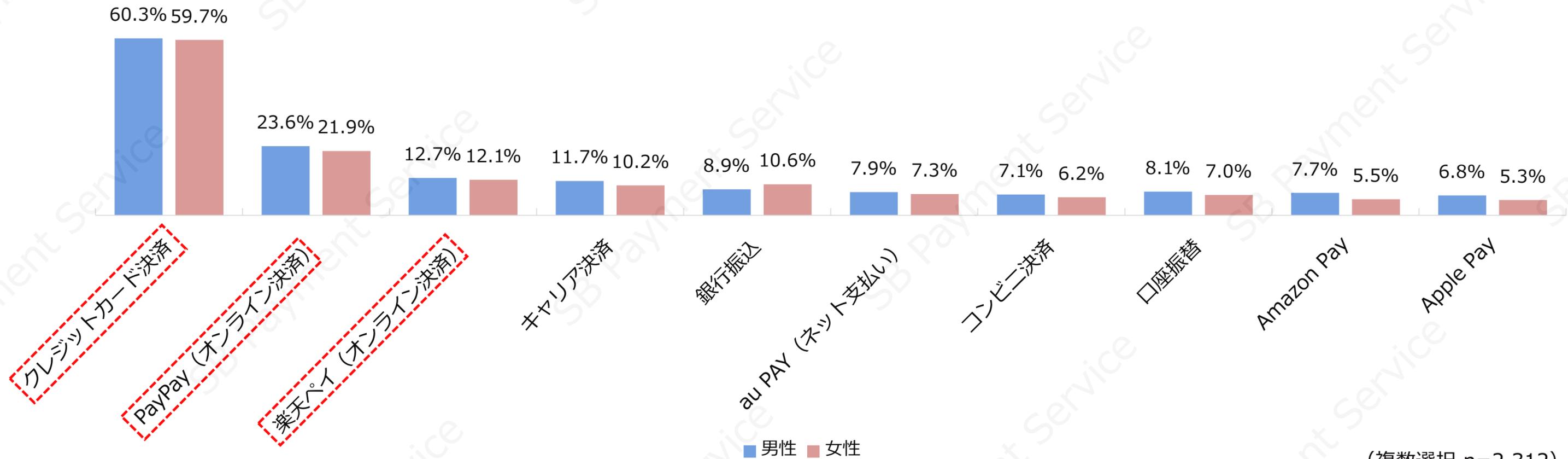


年齢



よく利用する決済手段

デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段として**クレジットカード決済**が最も多く選ばれ、次に**PayPay（オンライン決済）**となった。3位は**楽天ペイ（オンライン決済）**であった。



(複数選択 n=2,312)

※10位までの決済手段を表示

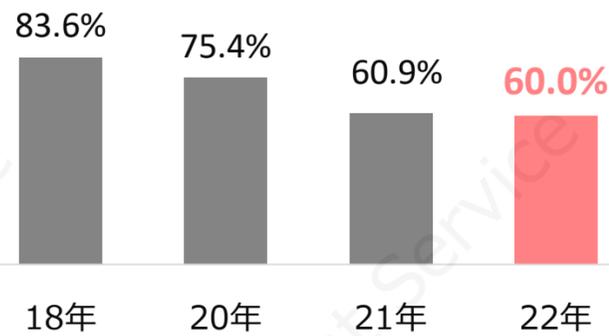
※11位以降の選択肢：ポイント決済 / Yahoo!ウォレット決済 / LINE Pay / ペイパル (PayPal) / 楽天Edy / Google Pay / モバイルSuica / 後払い決済 / Pay-easy (ペイジー) 決済 / プリペイドカード決済 / メルペイネット決済 / エポスかんたん決済 / リクルートかんたん支払い / 暗号資産 (仮想通貨) / 銀聯網決済 / Alipay国際決済 / WeChat Pay (オンライン) / その他 (自由回答)

よく利用する決済手段 過去比較

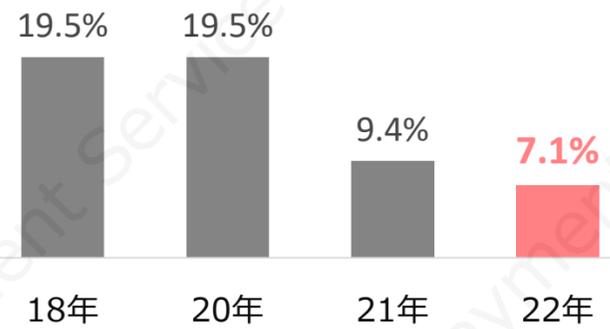
2018年では80%以上の方が**クレジットカード決済**を選んでいましたが2022年は60%と年々低下傾向にある。一方で実店舗でも拡大している**PayPay（オンライン決済）**や**楽天ペイ（オンライン決済）**の利用者が大きく増加している。



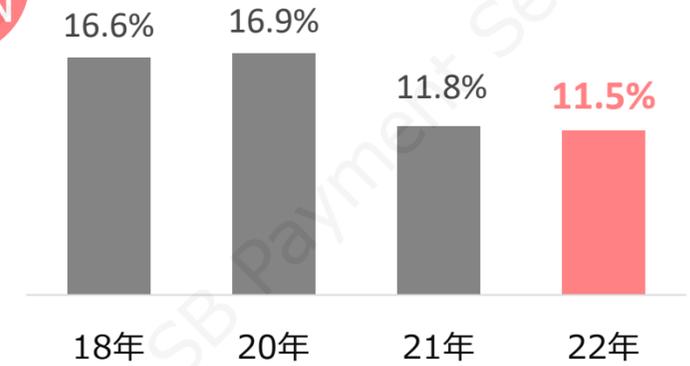
クレジットカード決済



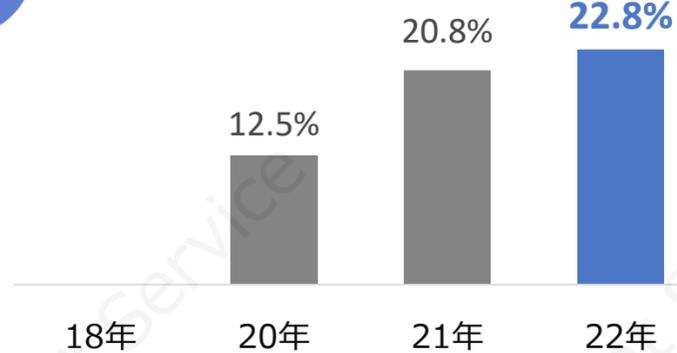
コンビニ決済



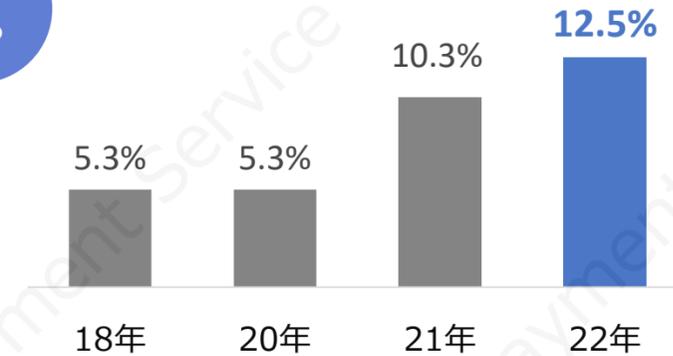
キャリア決済



PayPay（オンライン決済）※



楽天ペイ（オンライン決済）

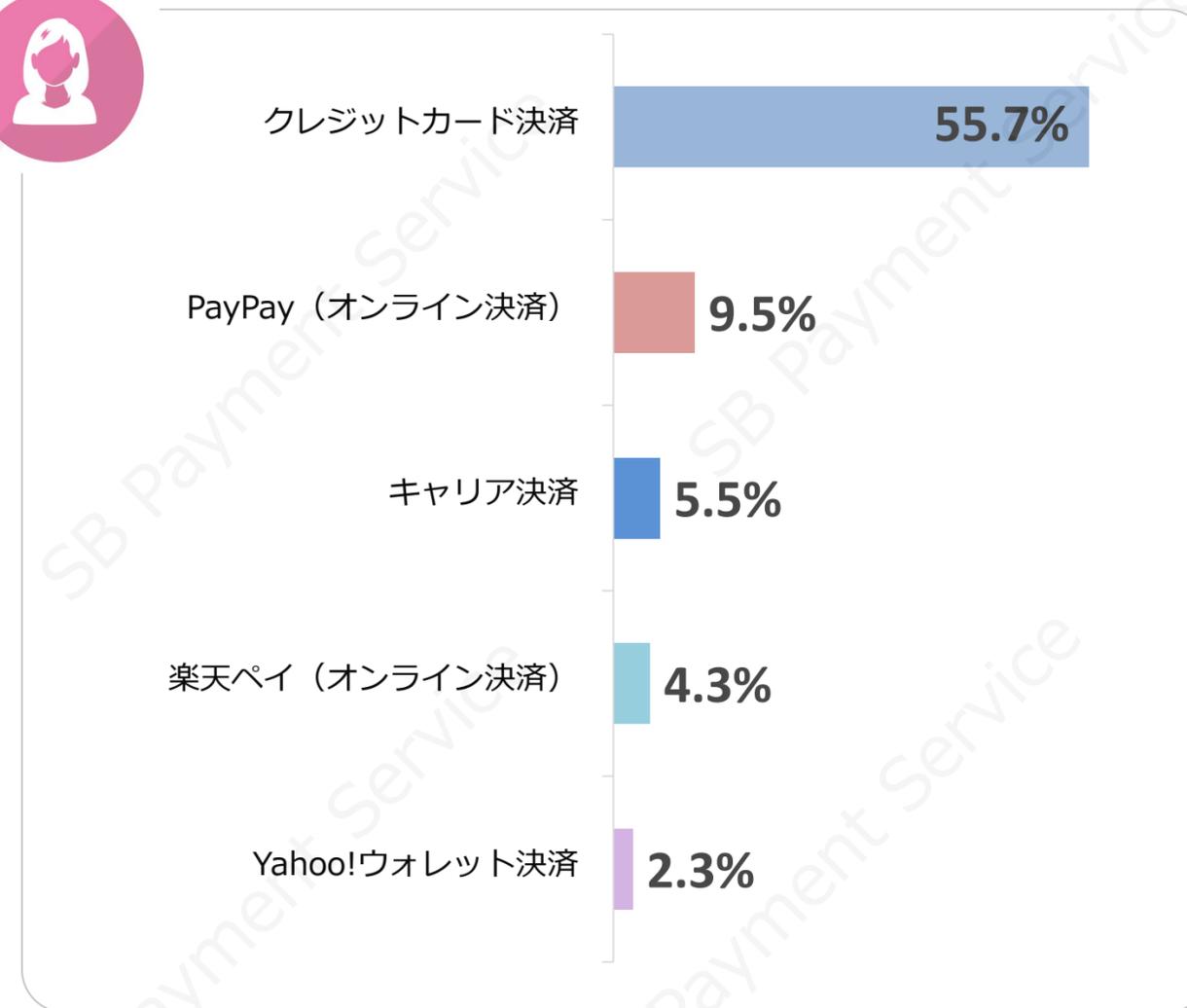
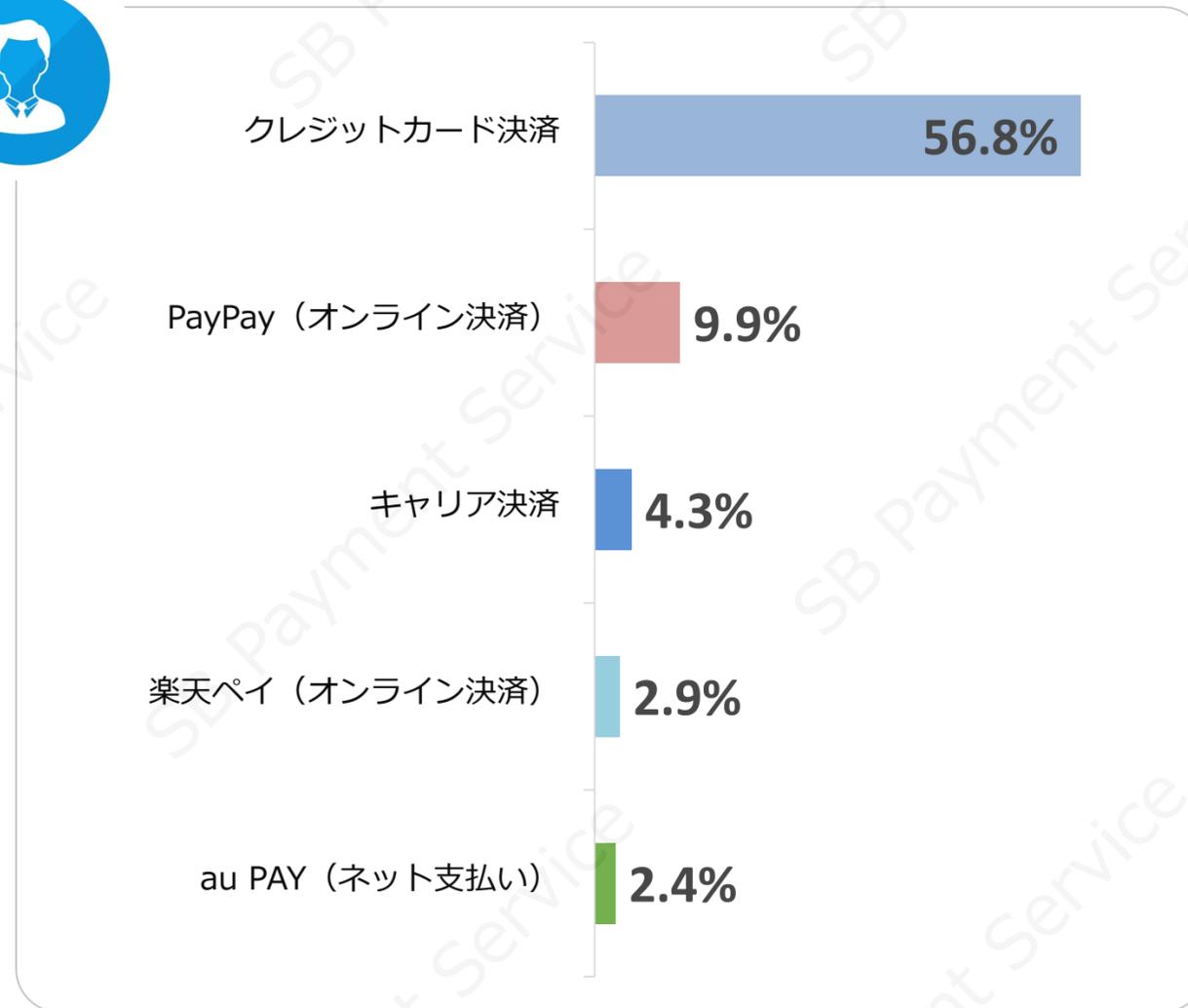


※2018年調査時は選択肢としてなし

(複数選択 2018年:n=1,173 / 2020年:n=2,335 / 2021年:n=2,253 / 2022年:n=2,312)

最も利用する決済手段（性別）

男女共に**クレジットカード決済**を最も利用すると回答し、次いで**PayPay（オンライン決済）**、**キャリア決済**となった。



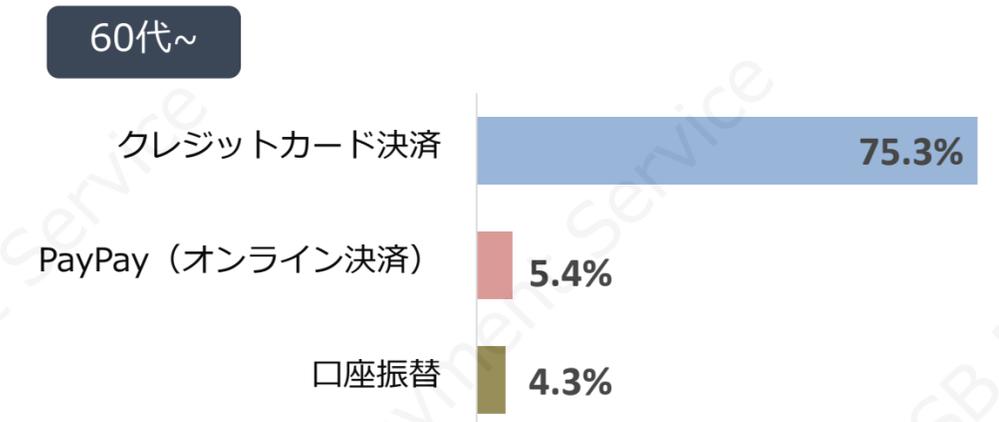
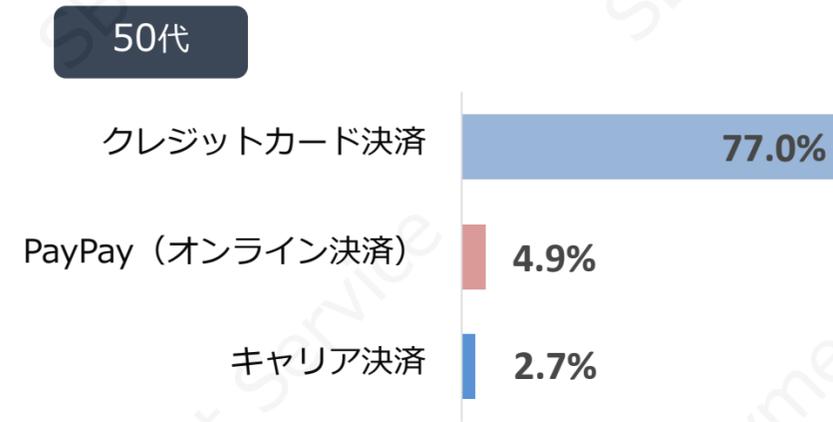
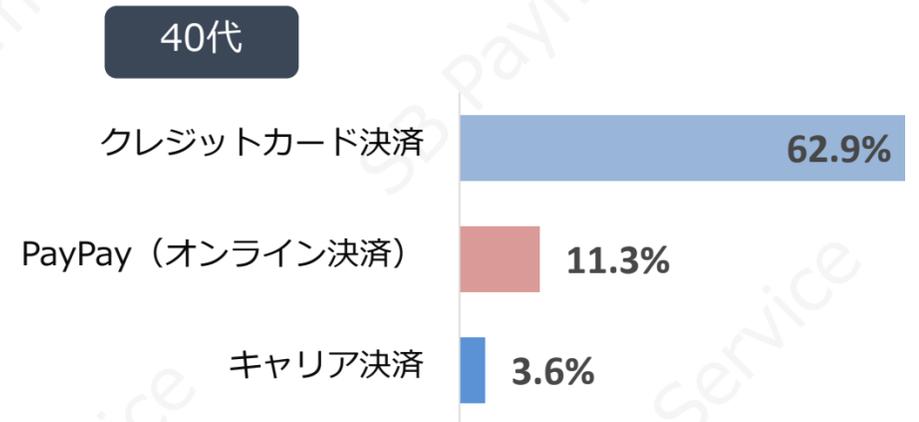
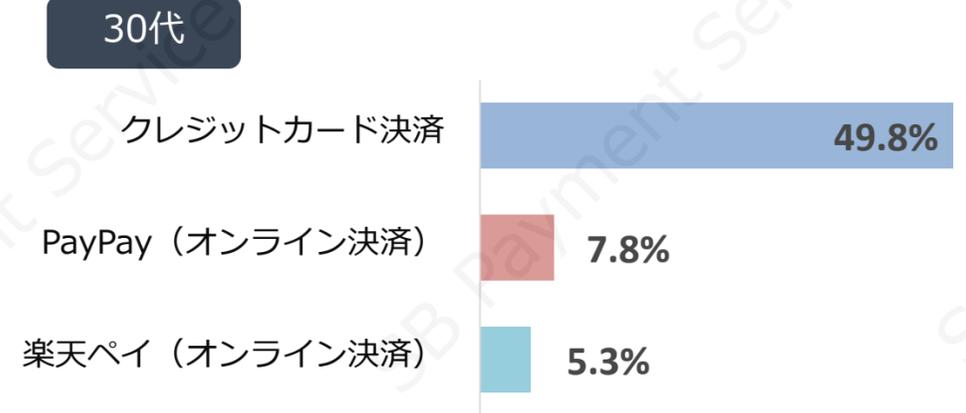
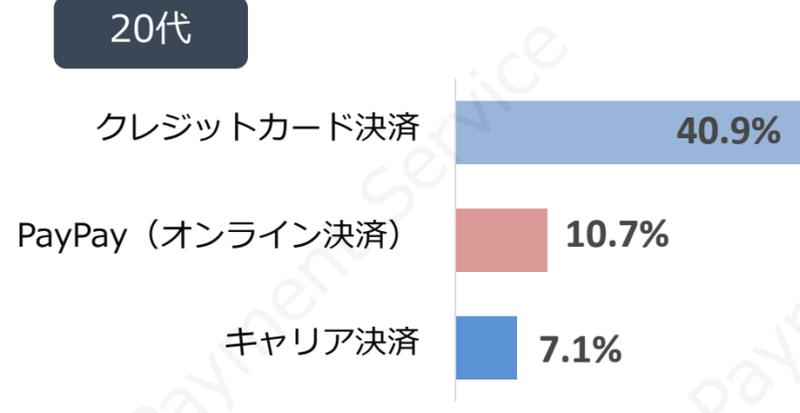
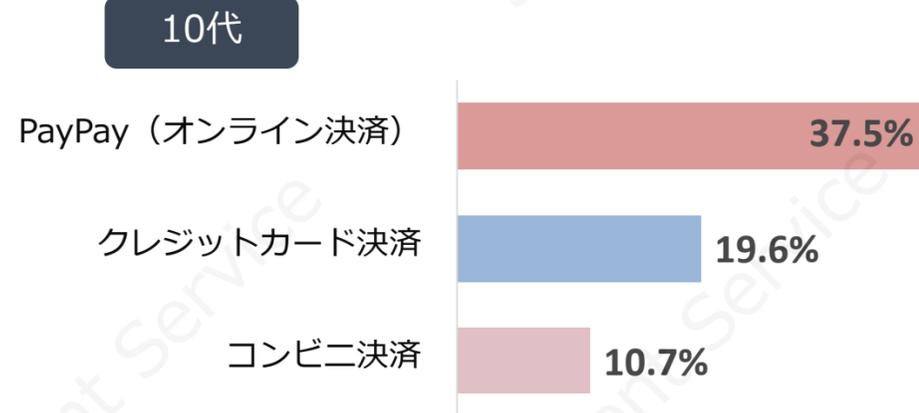
※上位5個までの決済手段を表示

（単一選択 男性:n=1,209 女性:n=1,103）

最も利用する決済手段 (男性×年代別)



10代男性は**PayPay (オンライン決済)** が最も利用率が高く、クレジットカード決済以外の決済手段が浸透していることが分かる。年代が上がるごとに**クレジットカード決済**の利用率が増加傾向となった。



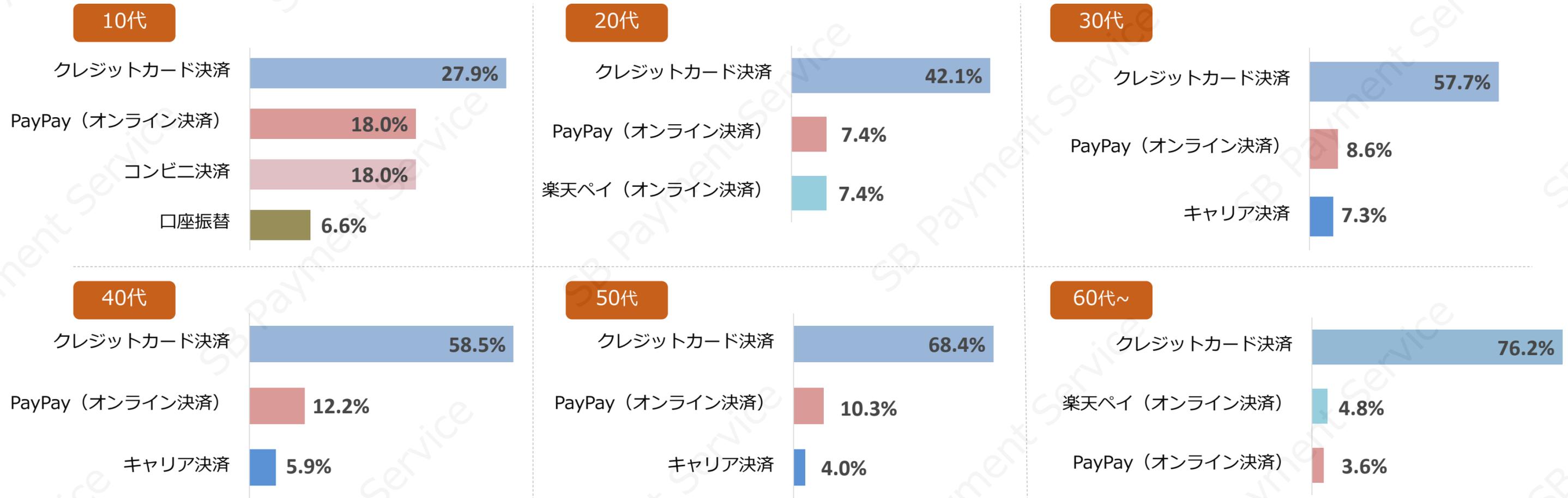
※上位3個までの決済手段を表示

(単一選択 n=1,209)

最も利用する決済手段（女性×年代別）



10代女性は**クレジットカード決済以外**の決済手段割合が高く、年代が上がるごとにクレジットカード決済の割合が上がっている。クレジットカード決済以外では**PayPay（オンライン決済）**と**キャリア決済**、**楽天ペイ（オンライン決済）**が選ばれている。



※上位3個までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

（単一選択 n=1,103）

最も利用する決済手段の理由

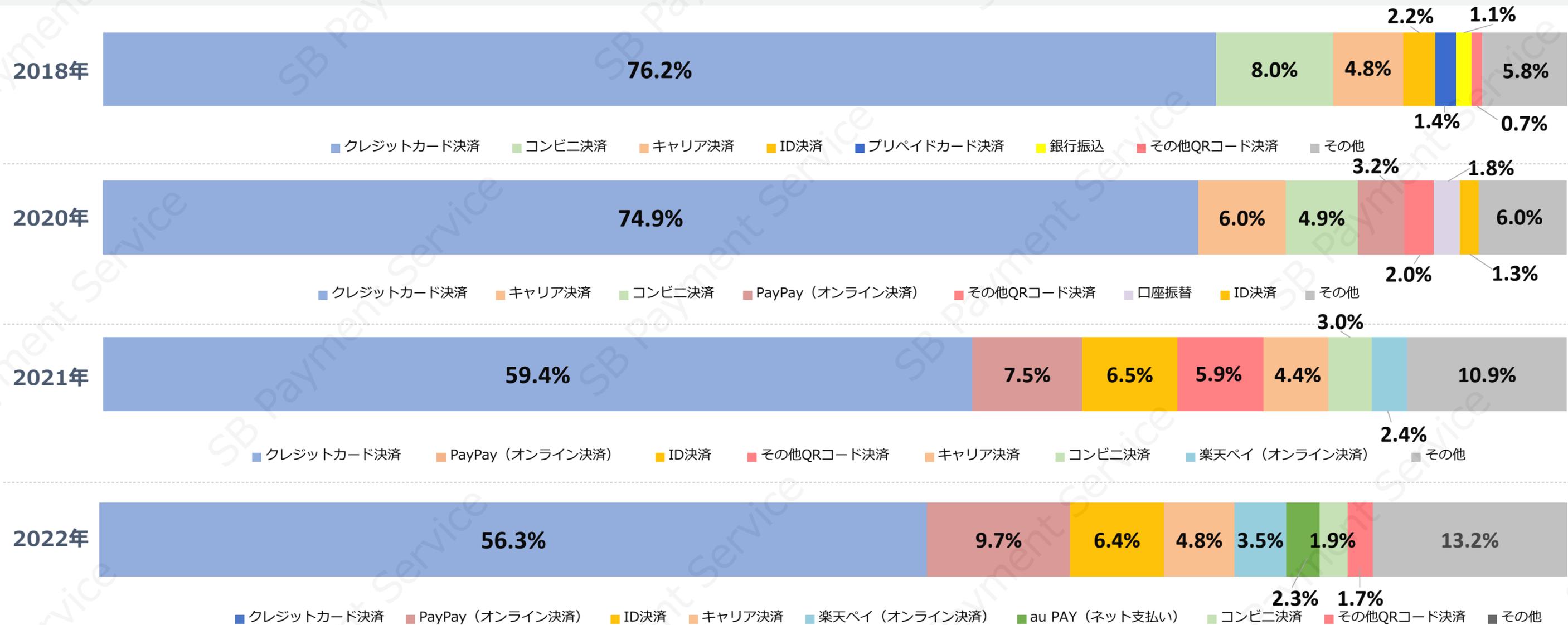
	クレジットカード決済	PayPay (オンライン決済)	キャリア決済	楽天ペイ (オンライン決済)	au PAY (ネット支払い)
男性 	一度登録してあれば手間がかからず処理できるから (60代)	確実に、わかりやすいから (60代)	携帯料金と合算だから楽で良い (20代)	ネットで完結し反映が早いから。ポイントで支払え又ポイントになり還元率も高いから (20代)	支払いがまとまり楽 (20代)
	簡単・安全・迅速 (70代)	手軽だしその場で支払いを完結したいから (40代)	一番直感的だから (30代)	楽天経済圏が魅力です (30代)	一番操作が少ない (20代)
	どのサイトでも使えるし、使用履歴を管理しやすいから (20代)	ペイペイはキャンペーンが豊富で還元率がいい (40代)	ゲームの課金サイトとキャリア決済が連携されており、購入をスムーズに行うことができるから (50代)	rakutenポイントを多く所有して多く使っているから (50代)	利用できる店が多く便利だから (40代)
女性 	手数料がかからないし、支払いのために外に出なくていいから (10代)	電子書籍の購入しかしないが、金曜日土曜日に購入支払いすると〇%ポイントバックなどのキャンペーンがある (50代)	携帯電話料金と一緒に支払えて便利、使い過ぎないように限度額設定ができるから (40代)	他にもいろいろ使える決済方法だから (50代)	楽だから (50代)
	長年同じカードで支払いし、慣れていて安心だから (50代)	取引履歴がわかりやすく、安心できるので (50代)	クレカ連携もしていてポイントも貯まるし、楽だから (20代)	ポイントを使えたり、カードも連携してるのでポイントが貯まりやすいから (40代)	便利だから (30代)
	毎月継続的にかかるのなら、明細で管理したいから、クレジットカード一択 (40代)	キャッシュレスではあるが、即座にお金が引き落とされるのと同じなので使いすぎを防げるから (30代)	スマホで購入しているのがそれが一番ラクだから (40代)	楽天カードを作ったのがきっかけ、楽天経済圏の利用のため (20代)	使用している携帯がその機種なので (40代)

最も利用する決済手段の理由（その他の決済手段）

口座振替	コンビニ決済	ポイント決済	Yahoo!ウォレット決済	Apple Pay
確実だから（40代・男性）	だいたい取り扱っているし、家からコンビニが近いから（40代・女性）	1円単位で利用できる（30代・女性）	セキュリティがしっかりしているから（50代・男性）	少額しか使用しないので（50代・男性）
安心出来るから（40代・男性）	現金で支払いできるし簡単にできるから（10代・女性）	使いすぎないように、貯まったポイントの範囲内で使うことにしている（40代・男性）	支払い方法が簡単だから（50代・女性）	簡単に支払えるから（20代・女性）
プリペイドカード決済	Google Pay	銀行振込	楽天Edy	LINE Pay
クレジットカードでチャージしてポイントが二重取りできるから（10代・男性）	簡単に決済出来てポイントを使えるから（40代・女性）	事前払いがよいから（40代・女性）	使い慣れている、ポイントが貯まる（50代・男性）	使用できるお店が多く幅広く使えるところが良い（30代・男性）
使いすぎ予防のため（50代・男性）	お金の出し入れの管理が便利だから（40代・男性）	使いすぎないから（20代・男性）	様々なサービスで使えるから（20代・男性）	良く使っている方法だから。入金しやすい（30代・女性）

最も利用する決済手段 過去比較

年々男女共にクレジットカード決済の割合が減少している分、他決済手段を利用する人が増加している。
2022年ではキャリア決済に代わり、**PayPay（オンライン決済）**が最も利用する決済手段第2位となった。

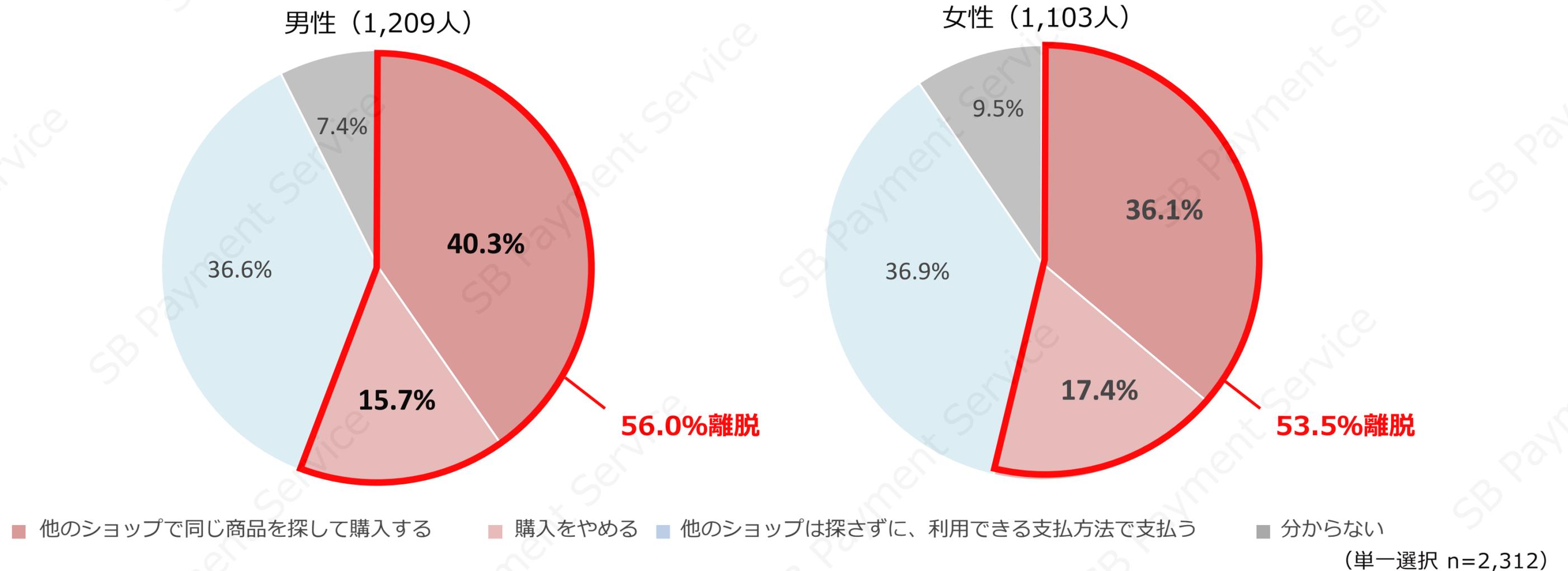


(複数選択 2018年:n=1,173 / 2020年:n=2,335 / 2021年:n=2,253 / 2022年:n=2,312)

※2022年各内訳 ■ID決済：Yahoo!ウォレット決済 / Amazon Pay / Apple Pay / Google Pay / エポスかんたん決済 / リクルートかんたん支払い ■その他QRコード決済：LINE Pay / メルペイネット決済 ■その他：プリペイドカード決済 / 口座振替 / 銀行振込 / ペイパル (PayPal) / Pay-easy (ペイジー) 決済 / WeChat Pay (オンライン) / 銀聯ネット決済 / Alipay国際決済 / ポイント決済 / 楽天Edy / 後払い決済 / モバイルSuica / 暗号資産 (仮想通貨) / その他 (自由回答)

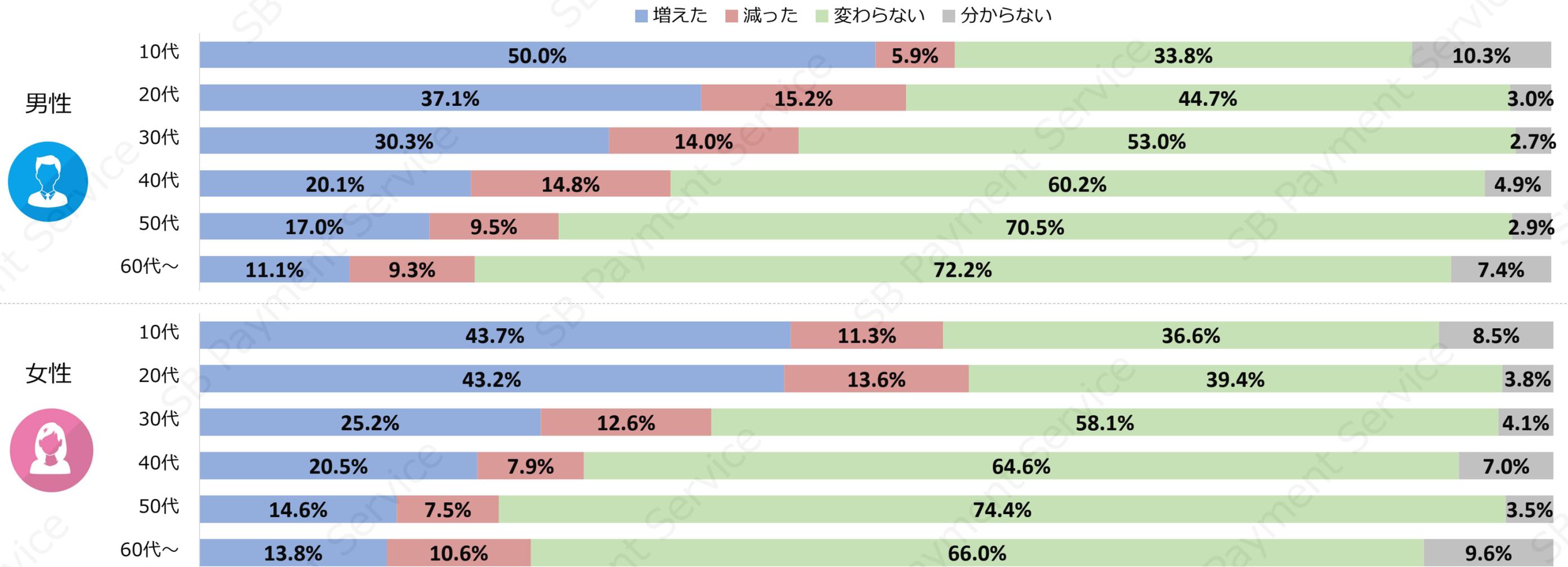
決済手段不足によるサイト離脱率

デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段がない場合どうするか、質問したところ男性では**56.0%**、女性では**53.5%**がそのショップでは購入せず離脱することが分かった。この結果からデジタルコンテンツにおける決済手段の重要性が分かる。



購入頻度の変化

2021年と比較しデジタルコンテンツの購入頻度に変化はあったか、と質問したところ増えたと回答した人が減ったと回答した人より全年代を通して多かった。2022年は外出自粛緩和の流れもあったが、引き続きオンラインショッピングを利用する意向が高いことがわかる。



(単一選択 n=2,312)

会社概要

会社概要

社名	SBペイメントサービス株式会社
設立年月日	2004年10月1日
資本金	60億7,500万円
株主	ソフトバンク株式会社 100%出資
事業内容	決済サービス、プリペイドカード発行サービス ポイントサービス、集金代行サービス 送金サービス 上記に付随するコンサルティングサービス
従業員数	518人（委託社員含む）
拠点	本社：東京都港区海岸1丁目7番1号 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 大阪：大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー7階 福岡：福岡県福岡市中央区大名1-1-29 1F WeWork大名
関連会社	SBギフト株式会社
各種免許 許認可一覧	前払式支払手段（第三者型）発行者 関東財務局長 第00625号 資金移動業者 関東財務局長 第00017号 電気通信事業者 関東総合通信局長 A-29-16195 クレジットカード番号等取扱契約締結事業者 関東（ク）第7号 電子決済等代行業者 関東財務局長（電代）第15号

役員一覧

代表取締役社長 兼 CEO	榛葉 淳 （ソフトバンク株式会社 代表取締役 副社長執行役員 兼 COO）
代表取締役副社長 兼 COO 兼 CISO	堀田 智宣
常務取締役 兼 CSO	平田 敏昭
取締役 兼 CFO 兼 CCO	沖本 泰朋
取締役	佐々木 一浩 （ソフトバンク株式会社 常務執行役員 兼 CDO）
取締役	藤原 和彦 （ソフトバンク株式会社 取締役 専務執行役員 兼 CFO）
取締役	谷田 智昭 （ヤフー株式会社 執行役員）
常勤監査役	村田 大介
監査役	桃崎 有治
監査役	秋山 修

事業概要

オンライン向けから店舗向けまで幅広いサービスを展開

オンライン決済サービス



事業者さま向けにオンライン決済事業を運営。40ブランド以上の豊富な決済手段をまとめてご提供。ソフトバンクグループの決済処理を行う安定した決済システムをご提供します。

カード加盟店業務



Visa、Mastercard、UnionPay（銀聯）のライセンスを保有しており、各ブランドのアクワイアラとして加盟店審査から加盟店管理、決済サービスまでをワンストップで提供。

店舗向け決済サービス



クレジットカード決済専用端末をはじめ電子マネー、QRコード決済にも対応したマルチ決済端末や、組み込み型決済端末までニーズに合わせて幅広いラインナップを提供。

キャリア決済

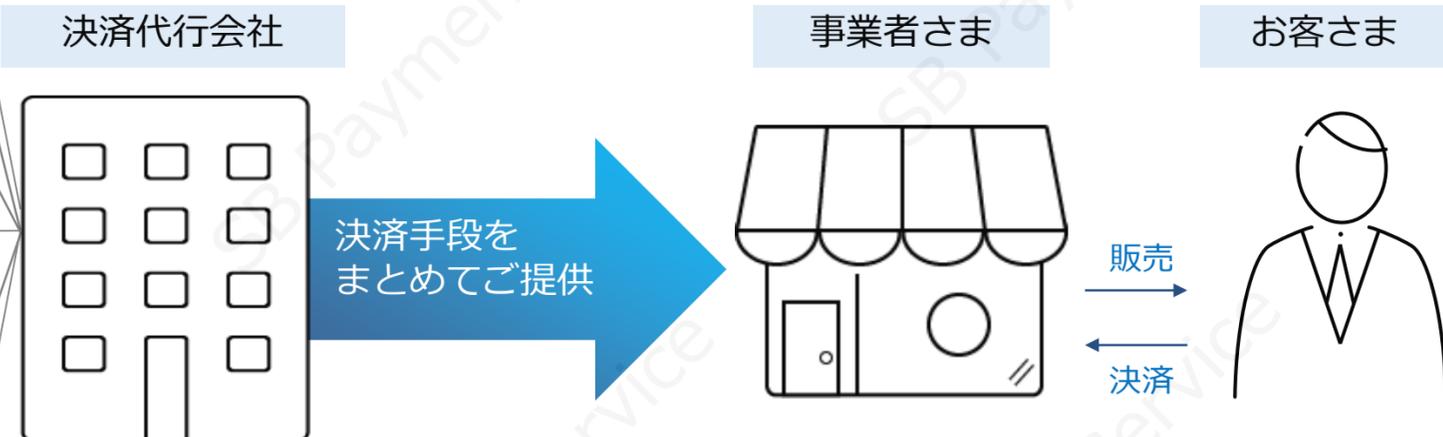


ソフトバンクと共同で、ソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」を開発・運営。決済機関として他決済代行会社へキャリア決済を提供。

決済業界と当社SBペイメントサービスの役割について

当社SBペイメントサービスは決済代行会社として、クレジットカード決済に始まり多種多様な決済手段を事業者さまへご提供しております。

また、当社はVisa・Mastercard・UnionPay（銀聯）の国際ブランドライセンスを取得しております。そのため、「アクワイアラ」というカード会社の立場として、事業者さまや、当社以外の決済代行会社に対してクレジットカード加盟店審査も行っております。そして、ソフトバンクと共同でソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」の開発・運営をしており、他の決済代行会社へ携帯キャリア決済も提供しております。



当社の決済手段の詳細については、以下よりご確認をお願いいたします。
<https://www.sbpayment.jp/service/asp/>

SB Payment Service

情報革命で人々を幸せに ~ すべての人と価値をつなぐ ~

Thank you

下記よりお気軽にお問い合わせください。

▶ 導入・お見積りのご相談

▶ サービス資料のご請求

お電話でのご相談
(平日10:00-16:00)

03-5776-7008